

食品(コメ)輸出の必要性

1. 国内市場の縮小:
人口減少、少子高齢化による食品市場の縮小
2. 食料自給率向上:
気候変動、紛争、2極化へのリスク対応

NPO法人エスコット

〒277-0011 千葉県柏市東上町4-17

千葉県夷隅郡御宿町上布施768-22

mobile: +81-80-4365-0861

<https://www.npo-escot.org>

ser.kashiwa@gmail.com



食品輸出の現状と目標

目標:日本の食品輸出業界は、近年急速に成長しており、
政府も**2030年までに5兆円**の輸出額を目指す。

現状:2024年前半(1月～6月)の日本の食品・農林水産物輸出額は7,013億円で、
前年同期比で1.8%減少。
しかし、中国や香港向け以外の国や地域への**輸出額は14.3%増加**、
全体的には成長傾向。

政府目標:2030年までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円。
達成に向けて「**農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略**」を策定。

輸出品目のトレンド

2024年前半の輸出額増加が大きかった上位3品目

1. ソース混合調味料: +54億円 (+22%)
2. 緑茶: +43億円 (+37%)
3. ビール: +24億円 (+35%)

日本食の普及に伴い、欧米を中心に多様な調味料や日本式カレー、日本製マヨネーズなどの需要上昇。

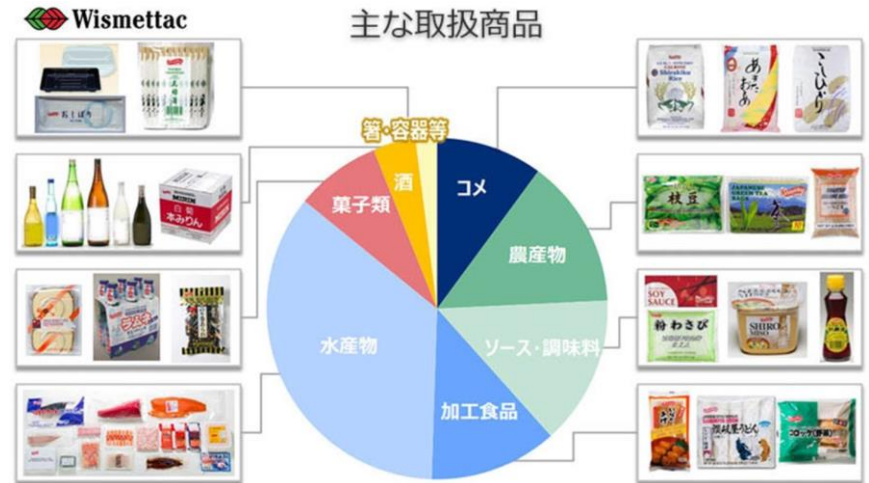
また、健康志向の高まりにより、抹茶などの粉末茶の需要増。

輸出業者の取り組み

1. 品質と安全性の確保:
HACCPシステムやGAP(農業生産工程管理)の導入により、生産から流通までの各段階で徹底した衛生管理。
2. ブランド価値の向上:
地理的表示(GI)制度を活用し、地域特性を持つ農林水産物・食品のブランド価値保護。
3. 多品種・小ロット対応:
顧客のニーズに合わせて、多様な商品を小ロットで提供する体制整備。
4. 国際的なネットワークの活用:
世界的ネットワーク構築と三国間貿易開拓

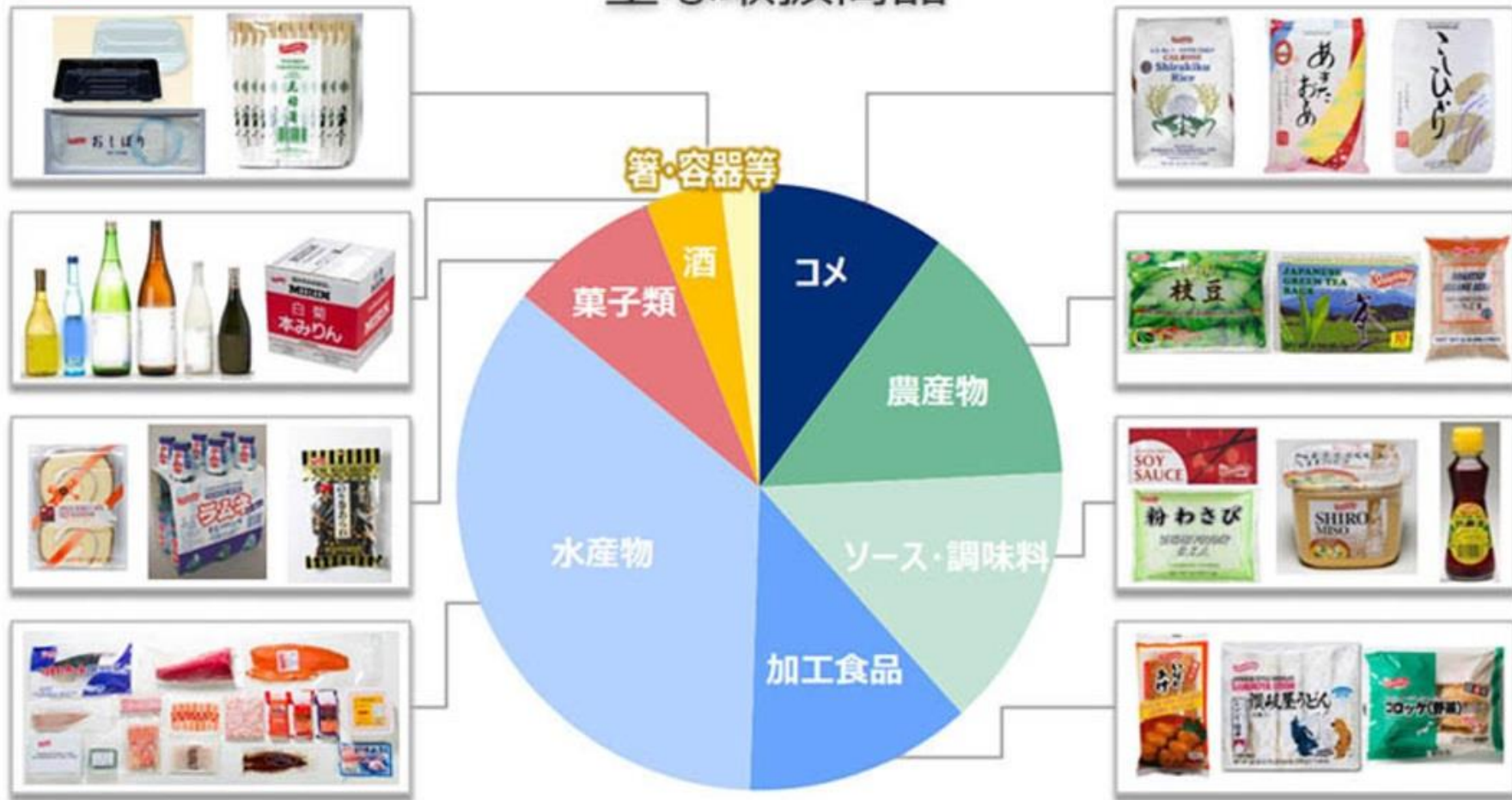
主要な食品輸出業者

1. Wismettacフーズ株式会社(東京)
2. H・M良知株式会社(東京)
3. 株式会社HJコーポレーション(東京)
4. 銀平グローバル株式会社(東京)
5. 株式会社欣洋(東京)
6. 研光通商株式会社(東京)
7. 株式会社コイケ(東京)
8. 広洋貿易株式会社(東京)
9. 株式会社GOEZ(東京)
10. 株式会社サングローブフード(東京)
11. 株式会社三陸コーポレーション(東京)
12. 有限会社シーエルネットワーク



https://www.jetro.go.jp/industry/foods/trading_company_list.html

主な取扱商品



コメ輸出の現状

全体状況：

2024年1月から7月の日本のコメ輸出量は2万4469トンで、**前年同期比23%増加**。農林水産省が集計を始めた2014年以降、この期間として最多。

主要輸出先：

1. 香港
2. アメリカ
3. シンガポール

* **現地の日本食レストラン向けのコメ需要が拡大が背景**

2023年の実績：

2023年のコメ輸出(商業用)は、前年比29%増の3万7186トン、金額にして9411億円。アメリカ向けは前年比54%増の6883トン、1768億円と大幅増加。

輸出拡大の要因：

1. 円安の影響
2. **おにぎり店の海外進出**
3. 日本食ブームの継続食品輸出の必要性

コメ輸出事例情報

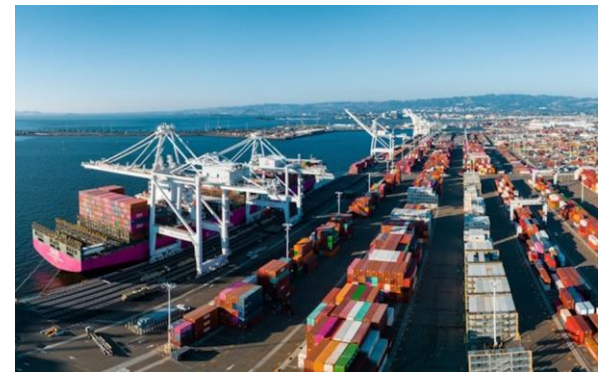


輸出米10アール、4万円の補助金
大手輸出企業「百笑市場」27年には
6000トンの目標



JAうつのみや(佐藤俊伸(さとうとしのぶ)組合長)は28日、オーストラリアに輸出するブランド米「みやおとめ」の出発式を宇都宮市上籠谷(かみこもりや)町の宇都宮東部選果場で行った。

コメ輸出の課題：情報課題



スマートアグリというサイトでの田牧一郎氏による連載記事の一部
<https://smartagri-jp.com/series/37>

”せっかく新規需要米としてのサポートを受けても、これまで述べてきた海上運賃の高騰でせっかくのサポートが消えてしまい、海外市場での価格競争力を失ってしまいます。運行予定通りに船が動き、世界中でコンテナが動いていた時代は、

東京～カリフォルニア州オークランド港間の海上運賃は20フィートのドライ(常温)コンテナで**10万円前後**でした。

現在の**173万円**という海上運賃は、日本からのコメ輸出を完全に止めてしまいます。

そこで国からの輸出サポートとして、輸送費の補助を受けられるようにしては。

コメ輸出の課題

価格競争力:

1. 日本産米: 245円/kg
2. アメリカ産米: 90円/kg
3. タイ産米: 58円/kg

* 輸送・流通コスト

輸出米生産体制:

国内市場向けの生産体制からの転換の遅れ。

品質管理の課題:

輸送中のダメージや異物混入を防ぐための対策。

規制への対応:

輸出先国の農薬規制や残留物規制、品種や精米度に関する基準など、様々な規制に適合

輸送方法の課題:

コメは傷つきやすく、湿気や温度変化に敏感。適切な包装と輸送方法の確立。

放射能検査証明の要求:

東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で、一部の国・地域では放射能検査証明や産地証明が要求。

植物検疫の制限:

植物検疫上の理由で、日本からの輸出が禁止されていたり、条件が付される場合があり。

ブランド力の不足:

価格差を正当化するためには、日本産米の魅力を最大限に活かしたブランド力の強化が必要。

ドイツ国内での販売例

夢錦 JFC玄米 ゼロパック(1kg×2) 夢錦

10.95 €

(5,48 € / kg)

在庫あり

販売者: JPソウルフード

* 夢錦米:

海外在住者がオンラインで簡単に購入できる日本食材の一つ。

特徴:

5kg単位で販売

イタリア産

ドイツAmazonで購入可能

プライム会員であれば送料無料です翌日または翌々日に配送可能

Auswahl aller Artikel aufheben



YUME NISHIKI Jfc Reis (Short Grain), 1er Pack (1 X 10000 g)

von Yume Nishiki

100+ Mal im letzten Monat gekauft

55⁵⁰ €

(5,55€ / kg)

Nur 8 auf Lager. Bestelle jetzt.

Verkäufer: [Kusu Noki](#)

Größe: 10 kg

Konfiguration: Single

1

Löschen

Auf die Merkliste

Weitere Artikel wie diese



YUME NISHIKI JFC Brown Rice, 2er Pack (2 x 1 kg)

von Yume Nishiki

10⁹⁵ €

(5,48€ / kg)

Auf Lager

Verkäufer: [JP Soul Food](#)

1

Löschen

Auf die Merkliste

Weitere Artikel wie diese

欧州における日本食普及状況

近年、日本食レストランの数が急速に増加

農林水産省の調査によると、2015年時点で欧州の日本食レストラン数は10,550店
013年と比較して約2倍に増加

2023年には、世界全体で日本食レストランが約18万7,000店に達し、欧州でも2021
年から20%の成長

多様化:

1. ラーメン、焼き肉、お好み焼きなど、特定ジャンルの日本食を扱う専門店の進出
2. フランスでは焼き鳥が寿司・刺身を上回る人気
3. 寿司以外の日本食に対する需要増

本場の味へのこだわり:

1. 多くの日系企業が、現地の嗜好に合わせるのではなく、本物志向の味を提供
2. スペインでは日本の会席料理店が現地の新聞社によるレストラン賞を受賞

まとめ:

欧州における日本食の普及は着実に進んでおり、多様化と本格化が同時に進行。
今後も日本食市場の拡大が期待される一方で、現地の食文化や規制に適応しながら、本物の日本食の魅力を伝えていくことが重要

食品(コメ)輸出の必要性

ご清聴ありがとうございました。
Thank you for listening.

新会員募集中！ New members welcome!

